

総合検査案内  
2017

TSUKUBA i-Laboratory LLP

# 総合検査案内 CONTENTS

- 
- 検査項目索引 ..... 2
  - ご利用の手引き ..... 6
- 

❖ 生化学検査 14

---

❖ 薬物検査 18

---

❖ 内分泌学検査 19

---

❖ 腫瘍関連検査 21

---

❖ ウイルス学検査 22

---

❖ 免疫血清学検査 23

---

❖ 血液学検査 25

---

❖ 一般検査 27

---

- 容器一覧 ..... 31
-

## 和名項目

### ア

項目	頁数
亜鉛 (Zn)	17
アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ (AST)	14
(血清) アミラーゼ (S-AMY)	15
アラニンアミノトランスフェラーゼ (ALT)	14
アルカリフォスファターゼ (ALP)	14
アルカリフォスファターゼ (ALP) アイソザイム	15
アルブミン (Aib)	14
アンチトロンビンⅢ活性 (ATⅢ)	26
(血中) アンモニア (NH <sub>3</sub> )	15

### イ

インスリン (IRI)	20
-------------	----

### ウ

ウロビリノーゲン定性	27
------------	----

### エ

エストラジオール	20
エンドトキシン定量	23

### オ

黄体形成ホルモン (LH)	19
---------------	----

### カ

ガストリン放出ペプチド前駆体 (Pro GRP)	21
カリウム (K)	17
カルシウム (Ca)	17
活性化部分トロンボプラスチン時間 (APTT)	26
癌胎児性抗原 (CEA)	21

### ク

グリコアルブミン (GA)	16
グリコヘモグロビンA1C (ヘモグロビンA1C)	16
グルコース (GLU)	16
グルタミン・オキサロセティック・トランスアミナーゼ (GOT)	14
グルタミン・ピルビック・トランスアミナーゼ (GPT)	14
クレアチニン (CRE)	15
クレアチンキナーゼ (CK, CPK)	15
クレアチンキナーゼ (CK) アイソザイム	15
クロール (Cl)	17
クロール定量 (髄液)	28
クロール定量 (穿刺液)	28

### ケ

血小板数 (PLT)	25
血色素量 (ヘモグロビン)	25
血清アミラーゼ (S-AMY)	15
血清鉄 (Fe)	17
血清補体価 (CH <sub>50</sub> )	24
血中アンモニア (NH <sub>3</sub> )	15
血中FDP	26
血糖値 (グルコース)	15

### コ

高感度PSA	21
抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体 (TPO-Ab)	19
抗好中球細胞質抗体 (C-ANCA)	24
抗好中球細胞質ミエロペルオキシダーゼ抗体 (P-ANCA)	24
甲状腺刺激ホルモン (TSH)	19
抗サイログロブリン抗体 (Tg-Ab)	19
(ヒト) 絨毛性ゴナドトロピン (HCG)	20
コリンエステラーゼ (ChE, Ch-E)	15
コルチゾール	20
(HDL-) コレステロール (HDL-Cho)	16
(LDL-) コレステロール (LDL-Cho)	16
(総) コレステロール (T-Cho)	16

### サ

(抗) サイログロブリン抗体 (Tg-Ab)	19
サイトケラチン19フラグメント (シフラ)	21
細胞数 (髄液)	28
細胞数 (穿刺液)	28
(遊離) サイロキシン (FT <sub>4</sub> )	19
サイログロブリン (Tg)	19

### シ

シクロスポリン	18
シフラ (サイトケラチン19フラグメント)	21
(ヒト) 絨毛性ゴナドトロピン (HCG)	20
心筋トロポニンT	23
神経特異エノラーゼ (NSE)	21
浸透圧 (血清)	17
浸透圧 (尿)	17

### セ

成長ホルモン (GH)	19
赤血球数 (RBC)	25
潜血反応	27
(高感度) 前立腺特異抗原 (PSA)	21
前立腺特異抗原 (PSA) F/T比	21

### ソ

総コレステロール (T-Cho)	16
総胆汁酸 (TBA)	16
総蛋白 (TP)	14
総鉄結合能 (TIBC)	17
総ビリルビン (T-BIL)	14
総IgE (非特異的IgE)	24

### タ

タクロリムス	18
(総) 胆汁酸 (TBA)	16
(総) 蛋白 (TP)	14
蛋白定性	27
蛋白定量 (髄液)	28
蛋白定量 (穿刺液)	28
蛋白分画 (PR-F)	14

### チ

チモール混濁反応 (TTT)	14
中性脂肪 (TG)	16
直接ビリルビン (D-BIL)	14
沈渣	27

### テ

(血清) 鉄 (Fe)	17
(総) 鉄結合能 (TIBC)	17

### ト

糖定性	27
糖定量 (髄液)	28
糖定量 (穿刺液)	28
特異的IgE	24
トリグリセライド (TG)	16
(遊離) トリヨードサイロニン (FT <sub>3</sub> )	19
(心筋) トロポニンT	23
トロンビン・アンチトロンビンⅢ複合体 (TAT)	26

### ナ

ナトリウム (Na)	17
------------	----

### ニ

乳酸脱水素酵素 (LD, LDH)	14
乳酸脱水素酵素 (LDH) アイソザイム	15
尿アミラーゼ	15
尿C-ペプチド	20

尿酸(UA)	15
尿素呼吸試験(IR)	23
尿素窒素(UN)	15
尿中ケトン体	27
尿沈渣	27

ノ	頁数
---	----

脳性Na利尿ポリペプチド(BNP)	20
-------------------	----

ハ	頁数
---	----

梅毒(RPR法)	23
梅毒(TP抗体法)	23
白血球数(WBC)	25
白血球像	25

ヒ	頁数
---	----

ヒアルロン酸	16
比重	27
非特異的IgE	24
ヒト心房性Na利尿ペプチド(hANP)	20
ヒト脳性ナトリウム利尿ポリペプチド前駆体N端フラグメント	20
ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)	20
(直接)ビリルビン(D-BIL)	14
(総)ビリルビン(T-BIL)	14
ビリルビン定性	27

フ	頁数
---	----

フィブリノーゲン(FIB)	26
フェリチン	23
副甲状腺ホルモンintact(PTH-intact)	20
副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)	19
プレセプシン	23
プロカルシトニン(PCT)	23
プロジェステロン	20
プロトロンビン時間(PT)	26
プロラクチン(PRL)	19

へ	頁数
---	----

ヘマトクリット(Ht)	25
ヘモグロビン(Hb)	25
ヘモグロビンA1C(グリコヘモグロビンA1C)	16
便中ヘモグロビン	28

ホ	頁数
---	----

(血清)補体価(CH50)	24
---------------	----

マ	頁数
---	----

マグネシウム(Mg)	17
末梢血液一般検査	25
マトリックスメタロプロテイナーゼ-3(MMP-3)	15

ム	頁数
---	----

無機リン(P)	17
---------	----

メ	頁数
---	----

メトトレキサート	18
免疫グロブリンA(IgA)	24
免疫グロブリンG(IgG)	24
免疫グロブリンM(IgM)	24

モ	頁数
---	----

網状赤血球数(レチクロ)	25
--------------	----

ユ	頁数
---	----

遊離型PSA	21
遊離サイロキシシン(FT <sub>4</sub> )	19
遊離トリヨードサイロニン(FT <sub>3</sub> )	19

ラ	頁数
---	----

卵巣刺激ホルモン(FSH)	19
---------------	----

リ	頁数
---	----

リウマチ因子定量	24
リパーゼ	17
リポ蛋白分画	16
硫酸亜鉛試験(ZTT)	14
リン脂質(PL)	16
(無機)リン(P)	17

レ	頁数
---	----

レチクロ(網状赤血球数)	25
--------------	----

ロ	頁数
---	----

ロイシンアミノペプチダーゼ(LAP)	14
--------------------	----

アルファベットで始まる項目
---------------

A	頁数
---	----

ACTH(副腎皮質刺激ホルモン)	19
AFP(αフェトプロテイン)	21
Alb(アルブミン)	14
ALP(アルカリフォスファターゼ)	14
ALPアイソザイム	15
ALT(GPT)	14
APTT(活性化部分トロンボラスチン時間)	26
ASO定量	23
AST(GOT)	14
ATLA抗体(HTLV-I抗体)	22
ATⅢ活性(アンチトロンビンⅢ)	26
A1C(ヘモグロビンA1C)	16

B	頁数
---	----

BNP(脳性Na利尿ポリペプチド)	20
BUN(尿素窒素)	15

C	頁数
---	----

C反応性蛋白(CRP)(定量)	23
(尿)C-ペプチド	20
C-ペプチド(CPR)	20
C-ANCA(抗好中球細胞質抗体)	24
Ca(カルシウム)	17
CA125	21
CA15-3	21
CA19-9	21
CA72-4	21
CEA(癌胎児性抗原)	21
CH <sub>50</sub> (血清補体価)	24
ChE(コリンエステラーゼ)	15
CK-MB定量	15
CK(CPK, クレアチンキナーゼ)	15
CKアイソザイム(GPKアイソザイム)	15
Cl(クロール)	17
CPK(CK)	15
CPKアイソザイム(CKアイソザイム)	15
CPR(C-ペプチド)	20
CRE(クレアチニン)	15
CRP定量(C反応性蛋白)	23
C3(β <sub>1</sub> C/β <sub>1</sub> Aグロブリン)	24
C4(β <sub>1</sub> Eグロブリン)	24

D	頁数
---	----

D-BIL(直接ビリルビン)	14
D-ダイマー	26

F	頁数
(血中)FDP	26
Fe(血清鉄)	17
FIB(フィブリノーゲン)	26
Free-PSA(遊離型PSA)	21
FSH(卵巣刺激ホルモン)	19
(PSA)F/T比	21
FT <sub>3</sub> (遊離トリヨードサイロニン)	19
FT <sub>4</sub> (遊離サイロキシシン)	19

G	頁数
GA(グリコアルブミン)	16
GGT( $\gamma$ -GT, $\gamma$ -GTP)	14
GH(成長ホルモン)	19
GLU(グルコース)	15
GOT(AST)	14
GPT(ALT)	14

H	頁数
Hb(ヘモグロビン)	25
HbA <sub>1C</sub> (ヘモグロビンA <sub>1C</sub> )	16
HbC抗体	22
HBs抗原(凝集法)	22
HBs抗原(精密検査)	22
HBs抗体(精密検査)	22
(尿)HCG	20
HCG(ヒト絨毛性ゴナドトロピン)	20
HCG+ $\beta$	20
HCV抗体-II	22
HCV抗体-III	22
HDL-コレステロール(HDL-Cho)	16
HIV抗原・抗体	22
HIV-1抗体<確認試験>	22
HIV-2抗体<確認試験>	22
Ht(ヘマトクリット)	25
HTLV-I抗体(ATLA抗体)	22

I	頁数
IgA	24
IgE(特異的)	24
(総)IgE(非特異的IgE)	24
IgG	24
IgM	24
IRI(インスリン)	20

K	頁数
K(カリウム)	17
KL-6	16

L	頁数
LAP(ロイシニアミノペプチダーゼ)	14
LD(LDH, 乳酸脱水素酵素)	14
LDHアイソザイム	15
LDL-コレステロール(LDL-Cho)	16
LH(黄体形成ホルモン)	19

M	頁数
Mg(マグネシウム)	17
MMP-3(マトリックスメタロプロテイナーゼ-3)	15
MPO-ANCA(抗好中球細胞質ミエロペルオキシダーゼ抗体)	24

N	頁数
Na(ナトリウム)	17
NH <sub>3</sub> (血中アンモニア)	15
NSE(神経特異エノラーゼ)	21
NT-proBNP	20

P	頁数
P(無機リン)	17
P-ANCA(抗好中球細胞質ミエロペルオキシダーゼ抗体)	24
PCT(プロカルシトニン)	20
pH	27
PIC( $\alpha_2$ プラスミンインヒビター・プラスミン複合体)	26
PIVKA-II	21
PL(リン脂質)	16
PLT(血小板数)	25
PR3-ANCA(抗好中球細胞質抗体)	24
PRL(プロラクチン)	19
Pro GRP(ガストリン放出ペプチド前駆体)	21
(高感度)PSA	21
(遊離型)PSA	21
PSA F/T比	21
PT(プロトロンビン時間)	26
PTH-intact(副甲状腺ホルモンintact)	20

R	頁数
RBC(赤血球数)	25

S	頁数
S-AMY(血清アミラーゼ)	15
SCC抗原	21

T	頁数
T-BIL(総ビリルビン)	14
T-Cho(総コレステロール)	16
TARC	24
TAT(トロンビン・アンチトロンビンⅢ複合体)	26
TBA(総胆汁酸)	16
Tg-Ab(抗サイログロブリン抗体)	19
Tg(サイログロブリン)	19
TG(中性脂肪)	16
TIBC(総鉄結合能)	17
TP(総蛋白)	14
TPO-Ab(抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体)	19
TRAb定量(TSHレセプター抗体定量)	19
TSH(甲状腺刺激ホルモン)	19
TSHレセプター抗体定量(TRAb定量)	19
TTT(チモール混濁反応)	14

U	頁数
UA(尿酸)	15
UN(尿素窒素)	15

W	頁数
WBC(白血球数)	25

Z	頁数
Zn(亜鉛)	17
ZTT(硫酸亜鉛試験)	14

## その他

数字	頁数
(1→3)- $\beta$ -D-グルカン	23

ギリシャ文字	頁数
IV型コラーゲン	24
$\alpha_2$ プラスミンインヒビター・プラスミン複合体(PIC)	26
$\alpha$ フェト蛋白(AFP)	21
$\beta$ -D-グルカン	23
$\beta_1$ C/ $\beta_1$ Aグロブリン(C3)	24
$\beta_1$ Eグロブリン(C4)	24
$\beta_2$ マイクログロブリン	23
$\gamma$ -GT( $\gamma$ -GTP, $\gamma$ -グルタミルトランスペプチダーゼ)	14

# MEMO

## 1 取引のお申込み

ご利用に際しましては、つくばi-Laboratoryへご連絡下さい。担当者がお伺いし、ご説明・ご相談させていただきます。ご連絡の際は、裏表紙をご参照下さい。

## 2 検査のご依頼

検査のご依頼は、検査項目の種類により異なりますので、依頼項目に応じた依頼方法でご依頼下さい。24時間受付いたします。

### 【検査依頼方法】

#### 1) 電子依頼による方法

- 当ラボは、保健医療福祉情報システム工業会「JAHIS臨床検査交換規約」に基づく情報システムによる電子依頼を奨励しています。データ交換の詳細につきましては、当ラボ担当者との事前にお打合せのうえ、ご依頼施設の情報システムから予め取り決めたデータ形式により電子依頼情報をご提出下さい。
- 当ラボの運用している臨床検査コード体系は、日本臨床検査医学会の制定するJLAC10コードを採用しています。

#### 2) 検査依頼書による方法

- 当ラボ所定の依頼書に、「患者名」「担当医名」「依頼月日」等、検査実施に必要な事項を記載下さい。
- ご依頼検査項目は、該当箇所にご指示下さい。



### 【検体の提出方法】

#### 1) 検体ラベル

- 「登録番号」「患者名」「採取日」「材料」等、検査実施に必要な事項の記載されたラベルを容器にお貼り下さい。

#### 2) 検体採取条件

- 本案内書をご参照の上、所定の容器に必要量を採取して下さい。  
※容器の種類に関しては、巻末の「容器一覧」をご参照下さい。  
※およその採取量・提出料は各検査項目をご参照下さい。

#### 3) 検体保存条件

- 検体採取後、提出されるまでの間、所定の保存条件を遵守して下さい。
- 保存条件に関しては、本案内書の「保存方法」欄をご参照下さい。

#### 4) 検体提出条件

- 血清分離の要否等、適正な検査・測定を行うために必要な事項です。本案内書の「提出量」「容器」「備考」の各欄を併せてご参照下さい。

## 3 検体の受領・輸送

### 1) 検体の受領

- 検体の集配に関しては、予め申し合わせの上、ご指定の日時・場所へお伺いいたします。  
検体受領日( ) ※一部の検査につきましては、当ラボ責任管理の下に、LSIメディアンスに再委託致します。なお、当ラボよりLSIメディアンスへの平均搬送時間は1.5時間となっております。
- 検体受領場所( )

### 2) 検体の輸送

- お預かりした検体は、厳密な管理の下に当ラボ(つくばi-Laboratory)に搬入致します。  
平均搬送時間( )

## 4 検体の採取・取り扱い

### 【血液】

#### 1) 採血時間

- 一般的に早朝安静空腹時を原則としています。

#### 2) 検体採取

- 血液: 当ラボ指定の抗凝固剤入りの採血容器にて採血後、転倒混和させ、特に指定がない場合は、室温および冷蔵保存の場合はそのまま、凍結保存の場合は、指定の提出容器・保存条件にてご提出下さい。
- 血清: 特に指定が無い場合は、採血後室温保存し、凝固を確認後3,000rpm、10～15分間遠心分離操作をして下さい。  
遠心分離後、上清を指定の提出容器・保存条件にてご提出下さい。  
※必要量の3倍量を目安に採血して下さい。
- 血漿: 特に指定が無い場合は、指定の抗凝固剤入りの採血容器にて採血後、転倒混和させ3,000rpm、10～15分間遠心分離操作をして下さい。  
遠心分離後、上清を指定の提出容器・保存条件にてご提出下さい。  
※検査項目により、採取方法、保存条件が異なりますので、各検査項目の「備考」欄および保存条件、巻末の「容器一覧」をご参照下さい。  
※必要量の3倍量を目安に採血して下さい。

**3) 注意事項****採血時(真空採血の場合)**

- 容器の規定採取量より少ない場合、容器内部が陰圧状態のままとなり、溶血を引き起こす原因となりますので、必ず指定量を採取して下さい。

**採血時(シリンジ採血の場合)**

- シリンジから採血針を外し、採血管の側面に沿わせて注入して下さい。

**溶血を回避するために**

- 十分に乾燥した採血容器をご使用下さい。
- 採血時に無理な圧力や泡立ちを避けて下さい。
- 物理的刺激(極度の高温や低温、振動等)を避けて下さい。

**【尿】****1) 部分尿**

- 採尿容器に尿を採取して、必要量を指定の提出容器・保存条件にてご提出下さい。  
※ 検査項目により、採尿時間を指定している場合がありますので、各検査項目の「備考」欄および保存条件、巻末の「容器一覧」をご参照下さい。

**2) 24時間蓄尿**

- 蓄尿の間は、蓄尿容器に蓋をして冷暗所にて保存して下さい。蓄尿終了後、蓄尿量を測定し、よく混和させ必要量を指定の提出容器・保存条件にてご提出下さい。  
※ 防腐・安定性等の目的で、蓄尿開始時に添加剤を必要とする場合がありますので、各検査項目の「備考」欄をご参照下さい。

**5 所要日数**

- ご報告にかかる所要日数につきましては、検体をお預かりした当日を起算日として、先生にご報告できるまでの日数を記載しています。
- 依頼検査項目の組み合わせにより、所要日数の長い項目に準ずることがあります。
- 再検査の場合は、さらに若干の日数を要することがあります。

**6 検査結果のご報告**

- 検査結果は、当ラボ所定の報告書にてお届け致します。
- 当ラボは、保健医療福祉情報システム工業会「JAHIS 臨床検査交換規約」に基づく情報システムによる電子報告を奨励しています。報告書とは別に、検査成績は電子情報にて迅速なご報告が可能です。
- 至急を要する検査結果は、電話もしくはFAXでご報告致します。
- 本案内書で特に指定した緊急項目においては異常データを示した場合は、測定後速やかに電話またはFAXにて報告致します。  
※ 報告基準につきましては、13ページをご参照下さい。

**7 再検査**

- 当ラボの再検査基準に基づき、再検査を致します。
- 最小必要検体量にてご依頼の場合、量不足のため再検査に応じられないことがあります。

**8 検体の保管**

- 検査済み検体は、お客様との特段の取り決めがない限り当ラボ所定の保管期限後、適正な方法にて廃棄致します。なお、プール化および匿名化が可能なものにつきましては、個人情報保護法およびガイドラインを遵守した上で検査精度維持、向上等の目的で使用することがあります。

**9 検査についてのお問い合わせ**

検査内容等のお問い合わせ、ご意見、ご指摘につきましては、当ラボ担当者にお申し付け下さい。

**10 料金のご請求とお支払い方法**

- 請求書は1ヶ月分をまとめてお届け致します。お支払方法は契約にしたがってお願い致します。
- 請求書の検査項目名は当社所定の「検査略称」によって記載されますので、ご了承下さい。
- お支払いはなるべく銀行口座振替または振込にてお願い致します。  
口座振替をご利用いただく場合、月毎に振替通知書をお届け致します。なお、銀行振込の場合は、振込金受取書をもちまして、領収書に代えさせていただきます。領収書のご要望がございましたら、その旨、担当者にお申し付け下さい。



## 11 本文の記載内容について

### 1) 検査項目名称

既に日本語化しているドイツ語はそのままとし、それ以外のはアメリカ英語読みに従いました。但し、アインザイムのようにほぼ日本語化している検査項目名称については通例に従いました。また、略称が通例化しているものは、略号をもって検査項目名称としました。

### 2) 「保存」欄の記号

提出材料の保存条件です(採取した材料そのものの保存条件ではありません)。

検査項目によっては、検査成績が保存状態の影響を明らかに受けるものもありますので、お取扱いにご注意下さい。

#### 凍結

必ず凍結保存して下さい。凍結温度指定のあるものは、その旨を記載致します。  
なお、凍結指定の項目については原則として単独検体での出検をお願い致します。

#### 冷蔵

4℃前後で保存して下さい。また、数日以上にわたって保存される場合は、凍結して頂くようお願い致します。  
なお、凍結不可の材料については、その旨記載致します。

#### 室温

室温保存して下さい(20℃前後)。

#### 遮光

直射日光または蛍光灯、紫外線を避けて保存して下さい。

### 3) 「容器」欄の番号

検体採取および提出時に用いる容器を番号にて表示しております。

詳細は、巻末の容器一覧表をご参照下さい。

### 4) 「基準値」欄の単位記号

L	liter (=1,000ml)	mmol	millimole (=0.001mol)
dL	deciliter (=100ml)	μmol	micromole (=0.001mmol)
mL	milliliter	nmol	nanomole (=0.001 μmol)
mm <sup>3</sup>	cubicmillimeter	pmol	picomole (=0.001nmol)
μ <sup>3</sup>	cubicmicron	fmol	femtomole (=0.001pmol)
g	gram	mEq	milli Equivalent
mg	milligram (=0.001g)	Meq.	mega Equivalent
μg	microgram (=0.001mg)	FE	Fibrinogen Equivalent
ng	nanogram (=0.001 μg)	BCE	Bone Collagen Equivalent
pg	picogram (=0.001ng)	LGE	Log Genome Equivalent
U	Unit	mOsm	milli Osmole
UA	Allergen Unit	sec	second
mU	milli Unit (0.001U)	min	minute
μU	micro Unit (0.001mU)	h	hour
IU	International Unit	%	percent
ISU	Internal Standard Unit	‰	permill
AU	Arbitrary Unit	SI	Stimulation Index
BU	Bethesda Unit	cpm	count per minute
CU	Casein Unit	RBC	Red Blood Cell
RLU	Relative Light Unit		
R.U.	RPR Units		
T.U.	Titer Units		

### 5) 検査材料に関する主な用語

材料	概要
～加血液	採血後速やかに添加剤を混和した血液を表します。 添加剤の種類により、「EDTA加血液」、「ヘパリン加血液」、「クエン酸加血液」、「NaF加血液」等と表示致します。 ※所定の添加剤入り容器に血液を採取して下さい。
～血漿	採血後速やかに添加剤を混和し、遠心分離によって得られた血漿を表します。 添加剤の種類により、「EDTA血漿」、「ヘパリン血漿」、「クエン酸血漿」、「NaF血漿」等と表示致します。 なお、単に「血漿」とあるものについては、「備考」欄に添加剤の種類を別記しております。
血清	採血後、血餅の収縮を待って遠心分離して得られた上清を表します。 特に添加剤を用いる必要がある場合は、その旨「備考」欄に記載しております。
尿	原則として自然排尿された尿を表します。なお、「蓄尿」を要する場合、「備考」欄に使用する防腐剤の種類を別記しております。 ①普通尿の場合:新鮮尿を清潔な乾燥した容器に直接排尿するか、携帯便器に排尿させ、指定の検体容器に移し替えます。 ②中間尿の場合:放尿開始後、最初は便器に排尿し、排尿半ばに達した頃、採尿容器に放尿します。 ③無菌尿の場合:男女とも陰部を消毒液で洗浄しておき、中間尿を採尿します。

12 本文記載例

本文では、検体必要量、検査方法、基準値、実施料・判断料、検査のご依頼に当たって注意いただきたい事項を表記してあります。下記の例をご参照の上、正確な検体の採取にご協力下さい。

入力コード	検査項目		検体必要量 (mL)	容器	保存方法	検査方法	基準値	実施料判断料	所要日数	備考
	緊急	項目コード								
04111	緊急	AST (GOT) 3B03500002327201	血清 0.5	01	冷蔵	JSCC標準化 対応法	8—38	U/L 17 生化I	当日	溶血血清は高値を示す 場合があります。

検査項目名/略称

検査方法名です。

検体をお預かりし、結果をお届けするまでの日数です。

当ラボ受付コード

統一コード (JLAC10コード)

検体提出条件

ご提出いただく検体の保存条件です。採取後の保存条件ではありませんのでご注意ください。

実施料点数、判断料区分を表します。記号の内容は10ページをご参照下さい。

検査のご依頼に当たっての注意事項です。

※容器の取り扱いについては下記の例をご参照下さい。

また、取り扱い方法に条件がある項目もありますので、「備考」欄または、巻末の「容器一覧」をご参照下さい。

【例1】検体提出条件が血清である場合

検体必要量 (mL)	容器
血清 0.5	01

- 1) 汎用容器(01)に血液を採取し、遠心分離操作後、そのままご提出下さい。※血清または血漿の場合、必要量の約3倍量を目安に血液を採取して下さい。
- 2) 採取・提出とも同一容器(01)のため、別容器への移し替えは不要です。

【例2】添加剤入り容器でご提出いただく場合

検体必要量 (mL)	容器
EDTA 加血液 2	13

- 1) 当ラボ専用容器(13)に血液2.0mLを採取し、転倒混和の上、そのままご提出下さい。
- 2) 採取・提出とも同一容器(13)のため、別容器への移し替えは不要です。

【例3】添加剤入り容器に採取後、遠心分離して上清をご提出いただく場合

検体必要量 (mL)	容器
EDTA 血漿 0.3	14 ↓ 02

- 1) 当ラボ専用容器(14)に血液を採取し、遠心分離操作後、血漿0.3mLを別容器(02)に移し替えてご提出下さい。
- ※血清または血漿の場合、必要量の約3倍量を目安に血液を採取して下さい。

検査法の略号					
CF	補体結合試験	LC-MS/MS	タンデム MS 法	RPLA	逆受身ラテックス凝集試験
CLEIA	化学発光酵素免疫測定法	ICP-MS	誘導結合プラズマ質量分析法	RRA	ラジオレセプターアッセイ法
CLIA	化学発光免疫測定法	IR	赤外吸収スペクトロメトリー法	SBPA	結合蛋白サンドイッチ測定法
CPBA	競合性蛋白結合分析法	IRMA	免疫放射定量法	SRID	免疫拡散法
dRVVT	希釈ラッセル蛇毒試験法	LA	ラテックス凝集比濁法	TIA	免疫比濁法
ECLIA	電気化学発光免疫測定法	LPIA	ラテックス近赤外比濁法	TMA	核酸増幅法
EIA	酵素免疫測定法	MEIA	酵素免疫測定法	UV	紫外部吸光度分析法
EMIT	酵素免疫測定法	MPHA	混合受身赤血球凝集試験		
FAT	蛍光抗体法	NT	中和試験		
FEIA	蛍光酵素免疫測定法	PA	粒子凝集試験		
FISH	蛍光in situハイブリダイゼーション	PCR	ポリメラーゼ連鎖反応		
GC	ガスクロマトグラフィー法	PHA	受身赤血球凝集試験		
GC-MS	ガスクロマトグラフィー・マススペクトロメトリー法	REA	ラジオエンザイムアッセイ法		
HEIA	ホモジニアスエンザイムイムノアッセイ法	RFLP	制限酵素断片長多型		
HI	赤血球凝集抑制試験	RIA	ラジオイムノアッセイ法		
HPLC	高速液体クロマトグラフィー法	RPHA	逆受身赤血球凝集試験		

13 検体検査料

- 「実施料」欄は、2017年4月現在の検体検査実施料に準じております。
- 検体検査判断料、病理学的検査診断・判断料の区分は「実施料」欄に下記の通り併記してあります。
- 「実施料」欄中、検体検査以外の生体検査、特定薬剤治療管理料などは、点数に〔 〕を付してあります。

■ 検体検査判断料

①尿・糞便等検査判断料区分…………… 34点	尿便	⑥微生物学的検査判断料区分……………150点	微生
②血液学的検査判断料区分…………… 125点	血液	⑦病理診断・判断料区分	病理
③生化学的検査(I)判断料区分…………… 144点	生 I	組織診断料……………450点	
④生化学的検査(II)判断料区分…………… 144点	生 II	細胞診断料……………200点	
⑤免疫学的検査判断料区分…………… 144点	免疫	病理判断料……………150点	
		⑧検体検査判断料なし	—

●下記(適用項目)に掲げた検査を、1回に採取した材料を用いて複数行った場合、その点数は、項目数に応じて実施料欄に示したように算定されます。

■ 生化学的検査 I (血液化学検査)

項目名			
総ビリルビン	直接ビリルビン または抱合型ビリルビン	総蛋白	アルブミン
尿素窒素	クレアチニン	尿酸	アルカリホスファターゼ (ALP)
コリンエステラーゼ(ChE)	γ-グルタミルトランス フェラーゼ(γ-GT)	中性脂肪	ナトリウムおよび クロール
カリウム	カルシウム	マグネシウム	膠質反応※
クレアチン	グルコース	乳酸デヒドロゲナーゼ(LD)	エステル型コレステロール
アミラーゼ	ロイシンアミノペプチダーゼ (LAP)	クレアチンキナーゼ(CK)	アルドラーゼ
遊離コレステロール	鉄(Fe)	血中ケトン体・糖・クロール 検査(試験紙法・アンプル法・ 固定化酵素電極によるもの)	不飽和鉄結合能 (UIBC)(比色法)
総鉄結合能(TIBC)(比色法)	リン脂質	遊離脂肪酸	HDL-コレステロール
前立腺酸ホスファターゼ	無機リンおよびリン酸	総コレステロール	アスパラギン酸アミノトランス フェラーゼ(AST)
アラニンアミノトランスフェ ラーゼ(ALT)	LDL-コレステロール	蛋白分画	銅(Cu)
リパーゼ	イオン化カルシウム	マンガン(Mn)	

項目数	実施料
5項目以上7項目以下	93
8項目又は9項目	99
10項目以上	115

※膠質反応には TTT、ZTT があります。

■ 生化学的検査Ⅱ(内分泌検査)

項目名			
成長ホルモン(GH)	卵巣刺激ホルモン(FSH)	C-ペプチド(CPR)	黄体形成ホルモン(LH)
アルドステロン	テストステロン	遊離サイロキシン(FT <sub>4</sub> )	抗グルタミン酸デカルボキシラーゼ抗体(抗GAD抗体)
遊離トリヨードサイロニン(FT <sub>3</sub> )	コルチゾール	サイロキシン結合グロブリン(TBG)	サイログロブリン
脳性Na利尿ペプチド(BNP)	サイロキシン結合能(TBC)	脳性Na利尿ペプチド前駆体N端フラグメント(NT-proBNP)	カルシトニン
ヒト胎盤性ラクトゲン(HPL)	ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)定量	ヒト絨毛性ゴナドトロピン-βサブユニット(HCG-β)	ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)半定量
グルカゴン	I型コラーゲン架橋N-テロペプチド(NTx)	酒石酸抵抗性酸ホスファターゼ(TRACP-5b)	プロジェステロン
骨型アルカリホスファターゼ(BAP)	遊離テストステロン	低カルボキシル化オステオカルシン(ucOC)	インタクトI型プロコラーゲン-N-プロペプチド(Intact P I NP)
オステオカルシン(OC)	I型プロコラーゲン-N-プロペプチド(P I NP)	I型コラーゲン架橋C-テロペプチド-β異性体(β-CTX)(尿)	セクレチン
低単位ヒト絨毛性ゴナドトロピン(HCG)半定量	I型コラーゲン架橋C-テロペプチド-β異性体(β-CTX)	サイクリックAMP(cAMP)	エストリオール(E <sub>3</sub> )
エストロゲン半定量	エストロゲン定量	副甲状腺ホルモン関連蛋白C端フラグメント(C-PTHrP)	副甲状腺ホルモン(PTH)
カテコールアミン分画	デヒドロエピアンドロステロン硫酸抱合体(DHEA-S)	エストラジオール(E <sub>2</sub> )	副甲状腺ホルモン関連蛋白(PTHrP)
デオキシピリジノリン(DPD)(尿)	17-ケトジェニックスステロイド(17-KGS)	副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)	カテコールアミン
17-ケトステロイド分画(17-KS分画)	エリスロポエチン	17α-ヒドロキシプロゲステロン(17α-OHP)	抗IA-2抗体
プレグナンジオール	17-ケトジェニックスステロイド分画(17-KGS分画)	メタネフリン	心房性Na利尿ペプチド(ANP)
メタネフリン・ノルメタネフリン分画	ソマトメジンC	抗利尿ホルモン(ADH)	プレグナンジオール
ノルメタネフリン	インスリン様成長因子結合蛋白3型(IGFBP-3)		

項目数	実施料
3項目以上5項目以下	410
6項目又は7項目	623
8項目以上	900

■ 腫瘍マーカー

項目名			
癌胎児性抗原(CEA)	α-フェトプロテイン(AFP)	組織ポリペプチド抗原(TPA)	扁平上皮癌関連抗原(SCC抗原)
DUPAN-2	NCC-ST-439	CA15-3	前立腺酸ホスファターゼ抗原(PAP)
エラスターゼ1	前立腺特異抗原(PSA)	CA19-9	CA72-4
SPan-1	シアリルTn抗原(STN)	神経特異エノラーゼ(NSE)	塩基性フェトプロテイン(BFP)
CA50	PIVKA-II半定量	PIVKA-II定量	核マトリックスプロテイン22(NMP22)定量(尿)
シアリルLe <sup>x</sup> -i抗原(SLX)	CA125	核マトリックスプロテイン22(NMP22)定性(尿)	サイトケラチン8・18(尿)
遊離型PSA比(PSA F/T比)	BCA225	抗p53抗体	シアリルLe <sup>x</sup> -i抗原(CSLEX)
I型プロコラーゲン-C-プロペプチド(P I CP)	I型コラーゲン-C-テロペプチド(I CTP)	SP1	サイトケラチン19フラグメント(シフラ)
ガストリン放出ペプチド前駆体(ProGRP)	CA54/61	癌関連ガラクトース転移酵素(GAT)	遊離型フコース(尿)
CA602	α-フェトプロテインレクチン分画(AFP-L3%分画)	γ-セミノプロテイン(γ-SM)	CA130
ヒト絨毛性ゴナドトロピンβ分画コアフラグメント(HCG β-CF)(尿)	腫瘍胎児性抗原(POA)	癌胎児性抗原(CEA)定性(乳頭分泌液)	癌胎児性抗原(CEA)半定量(乳頭分泌液)
HER2蛋白(乳頭分泌液)	HER2蛋白	可溶性インターロイキン-2レセプター(sIL-2R)	

項目数	実施料
2項目	230
3項目	290
4項目以上	420

## ■ 肝炎ウイルス関連検査

項目名			
HBs抗原	HBs抗体	HBe抗原	HBe抗体
HCV抗体定性・定量	HCVコア蛋白	HBe抗体半定量・定量	HA-IgM抗体
HA抗体	HBe-IgM抗体	HCVコア抗体	HCV構造蛋白および非構造蛋白抗体定性
HCV構造蛋白および非構造蛋白抗体半定量	HE-IgA抗体定性	HCV血清群別判定	HBVコア関連抗原(HBcrAg)
デルタ肝炎ウイルス抗体	HCV特異抗体価	HBVジェノタイプ判定	

項目数	実施料
3項目	290
4項目	360
5項目以上	460

## ■ 自己抗体検査

項目名			
抗Jo-1抗体定性	抗Jo-1抗体半定量	抗Jo-1抗体定量	抗サイログロブリン抗体
抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体	抗RNP抗体定性	抗RNP抗体半定量	抗RNP抗体定量
抗Sm抗体定性	抗Sm抗体半定量	抗Sm抗体定量	抗SS-B/La抗体定性
抗SS-B/La抗体半定量	抗SS-B/La抗体定量	抗Scl-70抗体定性	抗Scl-70抗体半定量
抗Scl-70I抗体定量	抗SS-A/Ro抗体定性	抗SS-A/Ro抗体半定量	抗SS-A/Ro抗体定量
C1q結合免疫複合体	抗RNAポリメラーゼIII抗体	抗ARS抗体	

項目数	実施料
2項目	320
3項目以上	490

## ■ 出血・凝固検査

項目名			
フィブリノゲン分解産物(FgDP)	Dダイマー定性	プラスミンインヒビター(アンチプラスミン)	von Willebran d 因子(VWF)活性
Dダイマー半定量	$\alpha$ 2マクログロブリン	PIVKA-II	Dダイマー
凝固因子インヒビター	von Willebran d 因子(VWF)抗原	プラスミン・プラスミンインヒビター複合体(PIC)	プロテインS活性
プロテインS抗原	$\beta$ -トロンボグロブリン( $\beta$ -TG)	血小板第4因子(PF <sub>4</sub> )	プロトロンビンフラグメントF1+2
トロンビン・アンチトロンビン複合体(TAT)	トロンボモジュリン	フィブリンモノマー複合体	凝固因子(第II、第V、第VII、第VIII、第IX、第X、第XI、第XII、第XIII)
プロテインC抗原	tPA・PAI-1複合体	プロテインC活性	フィブリノヘプチド

項目数	実施料
3項目又は4項目	530
5項目以上	722

14 緊急報告対象項目

- 緊急対象項目については、「検査項目」欄に下記の通り併記しております。
- 下記の検査項目で、緊急異常値が検出された場合は、測定後速やかにFAXまたは個別電話でご報告申し上げます。

入力コード	検査項目
	項目コード
04111	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="background-color: red; color: white; padding: 2px 5px; margin-right: 5px;">緊急</div> <div>                     AST (GOT) 3B035000002327201                 </div> </div>

■ 緊急異常値

検査項目名	緊急報告基準値	備考
白血球数(WBC)	1,500 以下, 20,000 以上(/ $\mu$ l)	※1
ヘモグロビン(Hb)	5.0 以下, 20.0 以上(g/dL)	※1
血小板数(PLT)	3万 以下, 100万 以上(/ $\mu$ L)	
白血球像	芽球出現, 異型細胞多数出現 赤芽球多数出現(15/100以上)	※2
プロトロンビン時間-INR	2.00 以上	
活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT)	60秒 以上	
血中アンモニア(NH3)	400 以上( $\mu$ g/dL)	
グルコース(空腹時)	50 以下, 500 以上(mg/dL)	
AST (GOT)	500 以上(U/L)	
ALT (GPT)	500 以上(U/L)	
LD (LDH)	1,000 以上(U/L)	
血清アミラーゼ(S-AMY)	1,000 以上(U/L)	
総ビリルビン(T-BIL)	12.0 以上(mg/dL)	
ナトリウム(Na)	120 以下, 160 以上(mEq/L)	
カリウム(K)	2.5 以下, 7.0 以上(mEq/L)	
カルシウム(Ca)	6.0 以下, 12.0 以上(mg/dL)	
尿素窒素(UN)	80.0 以上(mg/dL)	※1
総蛋白(TP)	3.5 以下, 10.0 以上(g/dL)	
尿酸(UA)	2.0 以下, 12.0 以上(mg/dL)	※1
クレアチニン(CRE)	8.00 以上(mg/dL)	※1
CK (CPK)	1,000 以上(U/L)	
ALP (アルカリフォスファターゼ)	1,500 以上(U/L)	
CRP	30.00 以上(mg/dL)	

※1: 透析患者検体は除外

※2: 初診者より検出した場合のみ

分類	入力コード	検査項目	検体 必要量 (mL)	容器	保存 方法	検査方法	基準値	実施料 判断料	所要 日数	備考
		項目コード								
生化学検査	04106	<b>緊急</b> 総蛋白 (TP) 3A010000002327101	血清 0.5	01	冷蔵	ビューレット法	g/dL 6.7—8.3	11	1～2	
		生化I								
	04107	アルブミン (Alb) 3A015000002327101	血清 0.5	01	冷蔵	BCP法	g/dL 3.8—5.3	11	1～2	
		生化I								
	04169	蛋白分画 (PR-F) 3A020000002324000	血清 0.3	01	冷蔵	キャピラリー 電気泳動法	P30「蛋白分画 基準値」参照	18	1～2	
		生化I								
	04123	TTT (チモール混濁反応) 3A025000002329201	血清 0.5	01	冷蔵	学会法	U 5.0 以下	11	1～2	
		生化I								
	04124	ZTT (硫酸亜鉛試験) 3A030000002329201	血清 0.5	01	冷蔵	学会法	U 4.0—12.0	11	1～2	
		生化I								
	04118	<b>緊急</b> 総ビリルビン (T-BIL) 3J010000002327101	血清 0.5	01	冷蔵	酵素法	mg/dL 0.3—1.2	11	1～2	
		生化I								
	04119	直接ビリルビン (D-BIL) 3J020000002391901	血清 0.5	01	冷蔵	酵素法	mg/dL 0.0—0.4	11	1～2	
		生化I								
04111	<b>緊急</b> AST (GOT) 3B035000002327201	血清 0.5	01	冷蔵	JSCC標準化 対応法	U/L 8—38	17	1～2		
	生化I									
04112	<b>緊急</b> ALT (GPT) 3B045000002327201	血清 0.5	01	冷蔵	JSCC標準化 対応法	U/L 4—44	17	1～2		
	生化I									
04113	<b>緊急</b> LD (LDH) (乳酸脱水素酵素) 3B050000002327201	血清 0.5	01	冷蔵	JSCC標準化 対応法	U/L 106—211	11	1～2		
	生化I									
04114	<b>緊急</b> ALP (アルカリフォスファターゼ) 3B070000002327101	血清 0.5	01	冷蔵	JSCC標準化 対応法	U/L 104—338	11	1～2		
	生化I									
04117	LAP (ロイシンアミノペプチダーゼ) 3B135000002327101	血清 0.5	01	冷蔵	L-ロイシル-p- ニトロアニリド 基質法	U/L 30—70	11	1～2		
	生化I									
04115	γ-GT (γ-GTP) (γ-グルタミルトランスペプチダーゼ) 3B090000002327101	血清 0.5	01	冷蔵	JSCC標準化 対応法	U/L M 12—63 F 8—38	11	1～2		
	生化I									

分類	入力コード	検査項目	検体 必要量 (mL)	容器	保存 方法	検査方法	基準値	実施料 判断料	所要 日数	備考
		項目コード								
生化学検査	04116	コリンエステラーゼ (ChE,Ch-E) 3B110000002327252	血清 0.5	01	冷蔵	JSCC標準化 対応法	U/L 168—470	11 生化I	1～2	
	04147	<b>緊急</b> CK (CPK) (クレアチンキナーゼ) 3B010000002327201	血清 0.5	01	冷蔵	JSCC標準化 対応法	U/L M 63—257 F 42—150	11 生化I	1～2	
	04145	<b>緊急</b> 血清アミラーゼ (S-AMY) 3B160000002327101	血清 0.5	01	冷蔵	JSCC標準化 対応法	U/L 40—126	11 生化I	1～2	
	03030	尿アミラーゼ (U-AMY) 3B160000000127101	尿 0.5	25	冷蔵	JSCC標準化 対応法	U/L 74—826	11 生化I	1～2	
	10674	MMP-3 (マトリックスメタロプロテイナーゼ-3) 3B503000002306201	血清 0.4	01	冷蔵	LA (ラテックス 凝集比濁法)	ng/mL M 36.9—121 F 17.3—59.7	116 免疫	1～2	
	04151	LD (LDH)アイソザイム 3B055000002323300	血清 0.3	01	室温	アガロースゲル 電気泳動法	LD1 20—31 LD2 29—37 LD3 22—28 LD4 6—12 LD5 5—13	48 生化I	2～3	長期保存の場合は凍結 保存
	04150	CK (CPK)アイソザイム 3B025000002323300	血清 0.3	01	凍結	アガロースゲル 電気泳動法	BB 0—2 MB 0—3 MM 96-100	55 生化I	2～3	
	04152	ALPアイソザイム 3B080000002323300	血清 0.3	01	凍結	アガロースゲル 電気泳動法	ALP2 19—70 ALP3 28—79 ALP5 0—14	48 生化I	2～3	
	04148	CK-MB定量 (CPK-MB定量) 3B015000002327201	血清 0.4	01	凍結	免疫阻害法	10以下	U/L 55 生化I	1～2	
	04130	<b>緊急</b> クレアチニン (CRE) 3C015000002327101	血清 0.5	01	冷蔵	酵素法	mg/dL M 0.61—1.04 F 0.47—0.79	11 生化I	1～2	
	04131	<b>緊急</b> 尿酸 (UA) 3C020000002327101	血清 0.5	01	冷蔵	酵素法	mg/dL 4.0—7.0	11 生化I	1～2	
	04129	<b>緊急</b> 尿素窒素 (UN) 3C025000002327201	血清 0.5	01	冷蔵	ウレアーゼ-UV 法	mg/dL 8.0—20.0	11 生化I	1～2	
	04411	<b>緊急</b> 血中アンモニア (NH <sub>3</sub> ) 3C040000002227101	EDTA 加血漿 0.5	14 ↓ 02	凍結	酵素法	μg/dL 12—66	50 生化I	1～2	



分類	入力コード	検査項目	検体 必要量 (mL)	容器	保存 方法	検査方法	基準値	実施料 判断料	所要 日数	備考
		項目コード								
生化学検査	10001	<b>緊急</b> グルコース (GLU) 3D010000001926101	NaF 加血液 2	04	冷蔵 (凍結 不可)	固定化酵素 電極法	mg/dL 70—109	11 生化 I	1 ~ 2	
	10654	グリコアルブミン (GA) 3D055000002327102	血清 0.5	01	冷蔵	酵素法	% 11.0—16.0	55 生化 I	1 ~ 2	
	05613	ヘモグロビンA1C (グリコヘモグロビンA1C) 3D046000001920402	NaF 加血液 2	04	冷蔵 (凍結 不可)	HPLC法	% 4.6—6.2	49 血液	1 ~ 2	
	10071	ヒアルロン酸 3D080000002306201	血清 0.3	01	冷蔵	LA (ラテックス 凝集比濁法)	ng/mL 50.0以下	184 生化 I	1 ~ 2	
	10657	KL-6 5C210000002305201	血清 0.3	01	冷蔵	CLEIA	U/mL 500未満	120 生化 I	1 ~ 2	
	04134	TG (中性脂肪) 3F015000002327101	血清 0.5	01	冷蔵	酵素法(遊離グ リセロール消去 法)	mg/dL 30—149	11 生化 I	1 ~ 2	
	04133	総コレステロール (T-Chol) 3F050000002327101	血清 0.5	01	冷蔵	酵素法	mg/dL 120—219	17 生化 I	1 ~ 2	
	04136	HDL-コレステロール (HDL-Chol) 3F070000002327101	血清 0.5	01	冷蔵	酵素法(直接法)	mg/dL 40—70	17 生化 I	1 ~ 2	
	10637	LDL-コレステロール (LDL-Chol) 3F077000002327101	血清 0.5	01	冷蔵	酵素法(直接法)	mg/dL 65—139	18 生化 I	1 ~ 2	
	04135	リン脂質 (PL) 3F025000002327101	血清 0.5	01	冷蔵	酵素法	mg/dL 150—230	15 生化 I	1 ~ 2	
	04121	総胆汁酸 (TBA) 3F110000002327101	血清 0.5	01	冷蔵	酵素法	μmol/L 10.0以下	47 生化 I	1 ~ 2	
	10089	リポ蛋白分画 3F135000002323300	血清 0.4	01	冷蔵 (凍結 不可)	アガロースゲル 電気泳動法	% M α 27—51 pre β 8—24 β 35—56 F α 33—53 pre β 7—21 β 34—52	49 生化 I	2 ~ 3	

分類	入力コード	検査項目	検体 必要量 (mL)	容器	保存 方法	検査方法	基準値	実施料 判断料	所要 日数	備考
		項目コード								
生化学検査	04146	リパーゼ 3B180000002327101	血清 0.3	01	冷蔵	酵素法	U/L 13—42	24 生化I	1～2	
	04125	<b>緊急</b> ナトリウム (Na) 3H010000002326101	血清 0.5	01	冷蔵	電極法	mEq/L 135—147	11	1～2	
	04125	クロール (Cl) 3H020000002326101	血清 0.5	01	冷蔵	電極法	mEq/L 98—108	生化I	1～2	
	04128	<b>緊急</b> カリウム (K) 3H015000002326101	血清 0.5	01	冷蔵	電極法	mEq/L 3.6—5.0	11 生化I	1～2	
	10777	マグネシウム (Mg) 3H025000002327201	血清 0.5	01	冷蔵	酵素法	mg/dL 1.8—2.3	11 生化I	1～2	
	10760	<b>緊急</b> カルシウム (Ca) 3H030000002327101	血清 0.5	01	冷蔵	酵素法	mg/dL 8.6—10.1	11 生化I	1～2	
	04110	無機リン (P) 3H040000002327201	血清 0.5	01	冷蔵	酵素法	mg/dL 2.7—4.5	17 生化I	1～2	
	04160	血清鉄 (Fe) 3I010000002327101	血清 0.5	01	冷蔵	比色法(直接)	$\mu\text{g/dL}$ M 44—192 F 29—164	11 生化I	1～2	
	04161	総鉄結合能 (TIBC) 3I015000002391901	血清 0.5	01	冷蔵	比色法(計算)	$\mu\text{g/dL}$ M 253—365 F 246—410	11 生化I	1～2	
	04211	亜鉛 (Zn) 3I030000002327101	血清 0.5	01	冷蔵	比色法(直接)	$\mu\text{g/dL}$ 66—118	144 生化I	1～2	
	03811	<b>緊急</b> 血清浸透圧 3H045000002390201	血清 1	01	冷蔵	氷点降下法	mOsm/kg 275—290	15 血液	1～2	
	03911	尿浸透圧 3H04500000190201	尿 1	25	冷蔵	氷点降下法	mOsm/kg 50—1300	16 尿便	1～2	

分類	入力コード	検査項目	検体 必要量 (mL)	容器	保存 方法	検査方法	基準値	実施料 判断料	所要 日数	備考
		項目コード								
薬物検査	10144	タクロリムス 3M810000001905101	EDTA 加血液 1	07	冷蔵	CLIA	ng/ml	[470]	1～2	専用採血管に規程量を採血し、必要検体量をご提出ください。
	10142	シクロスポリン 3M805000001905101	EDTA 加血液 1	07	冷蔵	CLIA	ng/ml	[470]	1～2	専用採血管に規程量を採血し、必要検体量をご提出ください。
	04208	メトトレキサート 3M725000002305101	血清 0.3	03	冷蔵	CLIA	$\mu\text{mol/L}$ 中毒域(大量投与時) 24時間後 10以上 48時間後 1以上 72時間後 0.1以上	[470]	1～2	

分類	入力コード	検査項目	検体 必要量 (mL)	容器	保存 方法	検査方法	基準値	実施料 判断料	所要 日数	備考
		項目コード								
内分泌学検査	10767	成長ホルモン (GH) 4A010000002302301	血清 0.5	01	冷蔵	FEIA	ng/mL 2.1未満	117 生化II	1~2	
	10002	黄体形成ホルモン (LH) 4A030000002302301	血清 0.4	01	冷蔵	FEIA	mIU/mL M 1.7-11.2 F 卵泡期1.7-13.3 排卵期4.1-68.7 黄体期0.5-19.8 閉経後14.4-62.2	117 生化II	1~2	
	10003	卵胞刺激ホルモン (FSH) 4A035000002302301	血清 0.5	01	冷蔵	FEIA	mIU/mL M 2.1-18.6 F 卵泡期4.5-11.0 排卵期3.6-20.6 黄体期1.5-10.8 閉経後36.6-168.8	117 生化II	1~2	
	10797	副腎皮質刺激ホルモン (ACTH) 4A025000002205301	EDTA 血漿 0.5	14 ↓ 02	凍結	ECLIA	pg/mL 7.2-63.3	206 生化II	1~2	
	05111	甲状腺刺激ホルモン (TSH) 4A055000002305301	血清 0.5	01	冷蔵	ECLIA	μIU/mL 0.50-5.00	110 生化II	1~2	
	10004	プロラクチン (PRL) 4A020000002302301	血清 0.4	01	冷蔵	FEIA	ng/mL M 3.6-16.3 F 4.1-28.9	98 生化II	1~2	
	05113	遊離サイロキシシン (FT <sub>4</sub> ) 4B035000002305301	血清 0.3	01	冷蔵	ECLIA	ng/dL 0.90-1.70	134 生化II	1~2	
	10005	遊離トリヨードサイロニン (FT <sub>3</sub> ) 4B015000002305301	血清 0.3	01	冷蔵	ECLIA	pg/mL 2.3-4.0	134 生化II	1~2	
	05117	サイログロブリン (Tg) 4B040000002305301	血清 0.3	01	冷蔵	ECLIA	ng/mL 33.7以下	137 生化II	1~2	
	10616	抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体 (TPO-Ab) 5G285000002305201	血清 0.3	01	冷蔵	CLEIA	IU/mL 9.4以下	146 免疫	1~2	
	10643	抗サイログロブリン抗体 (Tg-Ab) 5G290000002305201	血清 0.3	01	冷蔵	CLEIA	IU/mL 54.6以下	144 免疫	1~2	
	05131	TSHレセプター抗体定量 (TRAb定量) 5G310000002305301	血清 0.5	01	冷蔵	ECLIA	IU/L 2.0未満	239 免疫	1~2	

分類	入力コード	検査項目	検体 必要量 (mL)	容器	保存 方法	検査方法	基準値	実施料 判断料	所要 日数	備考
		項目コード								
内分泌学検査	05118	副甲状腺ホルモンintact (PTH-intact) 4C025000002205301	EDTA 血漿 0.3	14 ↓ 02	凍結	ECLIA	pg/mL 10—65	180 生化II	1～2	必ず血漿分離の上ご提出下さい。PTHは採血後、直ちに冷却化で血漿を分離することで不活性化を防ぎます。ヘパリン血漿は不可。
	10006	コルチゾール 4D040000002302101	血清 0.3	01	冷蔵	FEIA	μg/dL 6.4—21.0	134 生化II	1～2	
	10906	プロジェステロン 4F045000002305101	血清 0.3	01	冷蔵	FEIA	P30 「プロジェステロン 基準値」参照	159 生化II	1～2	妊娠の有無、妊娠の週数を必ずご記入下さい。
	10905	エストラジオール (E <sub>2</sub> ) 4F025000002305101	血清 0.3	01	冷蔵	FEIA	P30 「エストラジオール (E <sub>2</sub> )基準値」参照	187 生化II	1～2	妊娠の有無、妊娠の週数を必ずご記入下さい。
	10642	ヒト絨毛性ゴナドトロピン (HCG) 4F080000002302301	血清 0.5	01	冷蔵	FEIA	mIU/mL 0.5以下	146 生化II	1～2	
	05132	HCG (尿) 4F080000000102301	尿 1	25	冷蔵	FEIA	mIU/mL M 2.5未満 F (非妊婦) 2.5未満 4～11週 1,210—475,000 8～11週 21,900—709,000 12～20週 2,890—193,000 21～40週 1,680—74,300	146 生化II	1～2	
	10803	HCG+β Z4F080000002305301	血清 0.3	01	冷蔵	ECLIA	mIU/mL M 2.0以下 F 非妊婦女性3以下 閉経後女性6以下	144 生化II	1～2	
	10091	インスリン (IRI) 4G010000002302301	血清 0.5	01	冷蔵	FEIA	μU/mL 1.1—17.0	112 生化II	1～2	
	10090	C-ペプチド (CPR) 4G020000002302301	血清 0.3	01	冷蔵	FEIA	ng/mL 0.69—2.45	117 生化II	1～2	
	03118	尿C-ペプチド 4G020000000102301	尿 0.3	16	凍結	FEIA		117 生化II	1～2	蓄尿での基準値は 18.3～124.4μg/dayです。
	10798	ヒト心房性Na利尿ペプチド (hANP) 4Z270000002202301	血漿 0.3	08 ↓ 02	凍結	FEIA	pg/ml 43以下	233 生化II	1～2	必ず指定容器使用
	10659	脳性Na利尿ポリペプチド (BNP) 4Z271000002205201	EDTA 血漿 0.3	14 ↓ 02	凍結	CLEIA	pg/mL 18.4以下	140 生化II	1～2	
	10801	ヒト脳性ナトリウム利尿 ポリペプチド前駆体N端 フラグメント (NT-proBNP) 4Z272000002305301	血清 0.3	01	冷蔵	ECLIA	pg/mL 125未満	140 生化II	1～2	

分類	入力コード	検査項目	検体 必要量 (mL)	容器	保存 方法	検査方法	基準値	実施料 判断料	所要 日数	備考
		項目コード								
腫瘍 関連 検査	06816	αフェトプロテイン (AFP) 5D015000002305201	血清 0.3	01	冷蔵	CLEIA	ng/mL 10.0以下	110 生化Ⅱ	1～2	
	06815	癌胎児性抗原 (CEA) 5D010000002305301	血清 0.3	01	冷蔵	ECLIA	ng/mL 5.0以下	108 生化Ⅱ	1～2	
	06811	CA19-9 5D130000002305301	血清 0.3	01	冷蔵	ECLIA	U/mL 37以下	134 生化Ⅱ	1～2	
	10116	PIVKA II 5D520000002305201	血清 0.3	01	冷蔵	CLEIA	mAU/mL 40未満	147 生化Ⅱ	1～2	
	10105	CA15-3 5D120000002305201	血清 0.3	01	冷蔵	CLEIA	U/mL 19.1以下	124 生化Ⅱ	1～2	
	10773	神経特異エノラーゼ (NSE) 5D410000002305301	血清 0.3	01	冷蔵	ECLIA	ng/mL 12.0以下	146 生化Ⅱ	1～2	
	10842	ガストリン放出ペプチド 前駆体 (Pro-GRP) 5D550000002205101	EDTA 血漿 0.5	14 ↓ 02	冷蔵	CLIA	pg/mL 81.0未満	175 生化Ⅱ	1～2	
	06813	SCC抗原 5D300000002305101	血清 0.3	01	冷蔵	CLIA	ng/mL 1.5以下	110 生化Ⅱ	1～2	
	10109	シフラ (サイトケラチン19フラグメント) 5D325000002305201	血清 0.3	01	冷蔵	CLEIA	ng/mL 3.5未満	172 生化Ⅱ	1～2	
	06817	高感度PSA 5D305000002305301	血清 0.3	01	凍結	ECLIA	ng/mL 4.00以下	134 生化Ⅱ	1～2	
	10779	遊離型PSA (Free-PSA) 5D308000002305352	血清 0.3	01	凍結	ECLIA	ng/mL —	— —	1～2	
	10779	PSA F/T比 5D308000002305300	血清 0.4	01	凍結	ECLIA	% 18以上	162 生化Ⅱ	1～2	
	06812	CA125 5D100000002305201	血清 0.3	01	冷蔵	CLEIA	U/mL 35以下	152 生化Ⅱ	1～2	
10772	CA72-4 5D150000002305301	血清 0.4	01	冷蔵	ECLIA	U/mL 6.9以下	146 生化Ⅱ	1～2		

分類	入力コード	検査項目	検体 必要量 (mL)	容器	保存 方法	検査方法	基準値	実施料 判断料	所要 日数	備考
		項目コード								
ウイルス学検査	04619	HBs 抗原(凝集法)	血清 0.4	01	冷蔵	MAT	8未満	倍 29	1 ~ 2	
		5F016141002311705						免疫		
	04615	HBs 抗原(精密検査)	血清 0.3	01	冷蔵	CLEIA	( - ) 0.03未満	IU/mL 88	1 ~ 2	
		5F016141002305200						免疫		
	10712	HBs 抗体(精密検査)	血清 0.3	01	冷蔵	CLEIA	( - ) 5.0未満	mIU/mL 88	1 ~ 2	
		5F016143002305200						免疫		
	10690	HBc 抗体	血清 0.3	01	冷蔵	CLEIA	( - ) 1.0未満	C.O.I 145	1 ~ 2	
		5F018143002305200						免疫		
	04180	HCV 抗体 - II	血清 0.3	01	冷蔵	CLEIA	( - ) 1.0未満	C.O.I 114	1 ~ 2	
		5F360Z14802305200						免疫		
04618	HCV 抗体 - III	血清 0.3	01	冷蔵	CLEIA	( - ) 1.0未満	C.O.I 114	1 ~ 2		
	5F360148502305200						免疫			
04617	HIV 抗原・抗体	血清 0.6	01	冷蔵	CLIA	( - ) 1.00未満	S/CO 121	1 ~ 2		
	5F560155002305100						免疫			
04623	HIV-1 抗体 (確認試験)	血清 0.6	62	冷蔵	ウエスタン ブロット法	陰性(-)	280	2 ~ 3	必ず専用容器使用	
	5F500143002383300						免疫			
04624	HIV-2 抗体 (確認試験)	血清 0.6	62	冷蔵	ウエスタン ブロット法	陰性(-)	380	2 ~ 3	必ず専用容器使用	
	5F550143002383300						免疫			
04616	HTLV- I 抗体 (ATLA 抗体)	血清 0.3	01	冷蔵	CLEIA	( - ) 1.0未満	C.O.I 177	1 ~ 2		
	5F450143002305200						免疫			

分類	入力コード	検査項目	検体 必要量 (mL)	容器	保存 方法	検査方法	基準値	実施料 判断料	所要 日数	備考
		項目コード								
免疫血清学検査	04181	ASO定量 5E035000002306201	血清 0.3	01	冷蔵	LA (ラテックス凝集比濁法)	IU/mL 160以下	15 免疫	1~2	
	04611	梅毒(RPR法) 5E074000002306200	血清 0.4	01	冷蔵	LA (ラテックス凝集比濁法)	R.U. (-) 1.0未満	15 免疫	1~2	
	04612	梅毒(TP抗体法) 5E075000002306200	血清 0.4	01	冷蔵	LA (ラテックス凝集比濁法)	C.O.I (-) 1.0未満	32 免疫	1~2	
	10173	エンドトキシン定量 5E046000001929701	血液 2	51	冷蔵 (凍結不可)	比濁時間分析法	pg/mL 5.0未満	257 免疫	2~3	必ず指定容器使用。 検体はエンドトキシンフリーの専用容器にて無菌的に採取して下さい。
	10862	(1→3) -β-D-グルカン 5E151000002227101	血液 2	51	冷蔵 (凍結不可)	比濁時間分析法	pg/mL 11.0未満	213 免疫	2~3	必ず指定容器使用。 検体はエンドトキシンフリーの専用容器にて無菌的に採取して下さい。
	10810	プロカルシトニン(PCT) 5C215000002305301	血清 0.4	01	凍結	ECLIA	ng/mL 0.5未満	310 生化I	1~2	
	05133	プレセプシン 5C216000002205201	EDTA 血漿 0.4 ※2	14 ↓ 02	凍結	CLEIA	pg/mL 314未満 敗血症診断の カットオフ値 500	310 生化I	1~2	専用検体としてご提出下さい (同一検体での他項目との重複 依頼は避けて下さい)。
	10670	尿素呼気試験 6Z100000009927351	呼気	32	室温	IR (赤外吸収 スペクトロメト リー)	% 2.5未満	70 微生物	1~2	
	04167	β <sub>2</sub> マイクログロブリン 5C065000002306201	血清 0.5	01	冷蔵	LA (ラテックス凝集比濁法)	mg/L 0.8—2.0	110 免疫	1~2	
	06814	フェリチン 5C095000002305201	血清 0.3	01	冷蔵	CLEIA	ng/mL M 39.4—340.0 F 3.6—114.0	114 生化I	1~2	鉄欠乏性貧血または貧血のない鉄欠乏症の診断基準となる血清フェリチン値は12ng/mL未満です。 [鉄剤の適正使用による貧血治療指針(日本鉄バイオサイエンス学会)]
	04198	<b>緊急</b> CRP定量 (C反応性蛋白) 5C070000002306201	血清 0.5	01	冷蔵	LA (ラテックス凝集比濁法)	mg/dL 0.20以下	16 免疫	1~2	
	10800	心筋トロポニンT 5C093000002305301	血清 0.5	01	凍結	ECLIA	ng/mL 0.10以下	120 生化I	1~2	

※1：敗血症(細菌性)の鑑別診断のカットオフ値：0.50ng/mL未満  
敗血症(細菌性)の重症度判定のカットオフ値：2.00ng/mL以上

※2：ボルテックスミキサー等による強い攪拌は測定値が上昇するので使用しないで下さい。



分類	入力コード	検査項目	検体 必要量 (mL)	容器	保存 方法	検査方法	基準値	実施料 判断料	所要 日数	備考
		項目コード								
免疫血清学検査	10070	IV型コラーゲン 5C134000002306201	血清 0.4	01	冷蔵	LA (ラテックス凝集比濁法)	ng/mL 150以下	144 生化I	1~2	
	04171	IgG 5A010000002306201	血清 0.5	01	冷蔵	TIA	mg/dL 870—1700	38 免疫	1~2	
	04172	IgA 5A015000002306201	血清 0.5	01	冷蔵	TIA	mg/dL 110—410	38 免疫	1~2	
	04173	IgM 5A020000002306201	血清 0.5	01	冷蔵	TIA	mg/dL M 33—190 F 46—260	38 免疫	1~2	
	10159	(総) IgE (非特異的IgE) 5A090000002302301	血清 0.4	01	冷蔵	FEIA	IU/mL 170 以下	100 免疫	1~4	
		特異的IgE	血清 0.4	01	冷蔵	FEIA	P29 「特異的IgE」 判定基準参照	各110 免疫	2~3	
	09401	TARC 5J228000002305201	血清 0.3	01	冷蔵	CLEIA	pg/mL 小児(6~12ヶ月) 1367未満 小児(1~2歳) 998未満 小児(2歳以上) 743未満 成人 450未満	194 免疫	1~2	中等症以上のアトピー性皮膚炎の目安は、成人700pg/mL以上、小児(2歳以上)760pg/mL以上です。
	04197	血清補体価 (CH <sub>50</sub> ) 5B010000002306101	血清 0.4	01	凍結 (-20℃ 以下)	リポソーム免疫測定法	U/mL 31.6—57.6	38 免疫	1~2	
	04195	C3 (β <sub>1</sub> C/β <sub>1</sub> Aグロブリン) 5B023000002306101	血清 0.5	01	冷蔵	TIA	mg/dL 65—135	70 免疫	1~2	
	04196	C4 (β <sub>1</sub> Eグロブリン) 5B024000002306101	血清 0.5	01	冷蔵	TIA	mg/dL 13—35	70 免疫	1~2	
	04183	リウマチ因子定量 5G160000002306201	血清 0.5	01	冷蔵	LA (ラテックス凝集比濁法)	U/mL 15以下	30 免疫	1~2	
	10820	抗好中球細胞質抗体 (PR3-ANCA、C-ANCA) 5G551000002305201	血清 0.3	01	冷蔵	CLEIA	U/mL 3.5未満	276 免疫	1~2	
	10830	抗好中球細胞質ミエロペルオキシダーゼ抗体 (MPO-ANCA、P-ANCA) 5D550000002205101	血清 0.3	01	冷蔵	CLEIA	U/mL 3.5未満	276 免疫	1~2	

分類	入力コード	検査項目	検体 必要量 (mL)	容器	保存 方法	検査方法	基準値	実施料 判断料	所要 日数	備考	
		項目コード									
血液学検査	02111	<b>緊急</b> 白血球数 (WBC) 2A990000001966252	EDTA 加血液 2	13	冷蔵 (凍結 不可)	フローサイト メトリー	$\times 10^3 / \mu\text{L}$ 4.0—9.0	21 血液	1 ~ 2		
	02112	<b>緊急</b> 赤血球数 (RBC) 2A990000001930151	EDTA 加血液 2	13	冷蔵 (凍結 不可)	電気抵抗検出法	$\times 10^6 / \mu\text{L}$ M 4.27—5.70 F 3.76—5.00		1 ~ 2		
	02113	<b>緊急</b> ヘモグロビン (Hb) 2A990000001930153	EDTA 加血液 2	13	冷蔵 (凍結 不可)	SLS-Hb法	g/dL M 14.0—18.0 F 12.0—16.0		1 ~ 2		
	02114	<b>緊急</b> ヘマトクリット (Ht) 2A990000001930154	EDTA 加血液 2	13	冷蔵 (凍結 不可)	赤血球パルス波 高値検出法	% M 40.0—52.0 F 33.5—45.0		1 ~ 2		
	02129	<b>緊急</b> 血小板数 (PLT) 2A990000001992055	EDTA 加血液 2	13	冷蔵 (凍結 不可)	電気抵抗検出法	$\times 10^3 / \mu\text{L}$ 150—350		1 ~ 2		
	02124	網状赤血球数 (レチクロ) 2A110000001966202	EDTA 加血液 2	13	冷蔵 (凍結 不可)	フローサイト メトリー	% 8—22		12 血液	1 ~ 2	
	02123	白血球像 2A160000001930100	EDTA 加血液 2	13	冷蔵 (凍結 不可)	フローサイトメ トリー・目視法 (鏡検)	下表 白血球像基準値 参照		15 血液	1 ~ 2	

白血球像基準値

細胞の種類	構成比率(%)
BAND	3 ~ 6
SEG	45 ~ 55
LYM	25 ~ 45
MONO	4 ~ 7
EO	1 ~ 5
BASO	0 ~ 1

分類	入力コード	検査項目	検体 必要量 (mL)	容器	保存 方法	検査方法	基準値	実施料 判断料	所要 日数	備考
		項目コード								
血液学検査	02212	<b>緊急</b> プロトロンビン時間 (PT) 2B030000002231100	クエン酸 血漿 0.5	15 ↓ 02	凍結	透過光	% 80—120 0.9—1.1 INR	18 血液	1～2	
	02211	<b>緊急</b> 活性化部分トロンボプラ スチン時間 (APTT) 2B020000002231100	クエン酸 血漿 0.5	15 ↓ 02	凍結	透過光	秒 24.0—39.0	29 血液	1～2	
	02214	フィブリノーゲン (FIB) 2B100000002231101	クエン酸 血漿 0.5	15 ↓ 02	凍結	透過光	mg/dL 200—400	23 血液	1～2	
	10703	血中FDP 2B120000002206201	クエン酸 血漿 0.5	15 ↓ 02	凍結	ラテックス凝集 比濁法	μg/mL 5.0未満	80 血液	1～2	
	10761	Dダイマー 2B140000002206201	クエン酸 血漿 0.5	15 ↓ 02	凍結	ラテックス凝集 比濁法	μg/mL 1.0以下	141 血液	1～2	
	02215	アンチトロンビンⅢ活性 (ATⅢ) 2B200000002231501	クエン酸 血漿 0.5	15 ↓ 02	凍結	合成基質法	% 80.0—130.0	70 血液	1～2	
	10054	トロンビン・ アンチトロンビンⅢ複合体 (TAT) 2B210000002205201	クエン酸 血漿 0.5	15 ↓ 02	凍結	CLEIA	ng/mL 3.0未満	191 血液	1～2	
	10053	プラスミン・α <sub>2</sub> -プラス ミンインヒビター複合体 (PIC) 2B280000002206201	クエン酸 血漿 0.5	15 ↓ 02	凍結	ラテックス凝集 比濁法	μg/mL 0.8未満	162 血液	1～2	

分類	入力コード	検査項目	検体 必要量 (mL)	容器	保存 方法	検査方法	基準値	実施料 判断料	所要 日数	備考
		項目コード								
一般 検査	03921	蛋白定性 1A010000000190111	尿 10	25	冷蔵	試験紙法	(-)	- ※2	1~2	[ウロビリノーゲン定性]、 [ビリルビン定性]のご依頼が ある場合は、遮光にてご提出 下さい。
	03922	糖定性 1A020000000190111	尿 10	25	冷蔵	試験紙法	(-)	- ※2	1~2	[ウロビリノーゲン定性]、 [ビリルビン定性]のご依頼が ある場合は、遮光にてご提出 下さい。
	03923	ビリルビン定性 1A055000000190111	尿 10	25	冷蔵	試験紙法	(-)	- ※2	1~2	[ウロビリノーゲン定性]、 [ビリルビン定性]のご依頼が ある場合は、遮光にてご提出 下さい。
	03924	尿中ケトン体 1A060000000190111	尿 10	25	冷蔵	試験紙法	(-)	- ※2	1~2	[ウロビリノーゲン定性]、 [ビリルビン定性]のご依頼が ある場合は、遮光にてご提出 下さい。
	03925	潜血反応 1A100000000190111	尿 10	25	冷蔵	試験紙法	(-)	- ※2	1~2	[ウロビリノーゲン定性]、 [ビリルビン定性]のご依頼が ある場合は、遮光にてご提出 下さい。
	03926	ウロビリノーゲン定性 1A040000000190111	尿 10	25	冷蔵	試験紙法	(±)	- ※2	1~2	[ウロビリノーゲン定性]、 [ビリルビン定性]のご依頼が ある場合は、遮光にてご提出 下さい。
	03927	pH 1A035000000190111	尿 10	25	冷蔵	試験紙法	5.0 ~ 7.5	- ※2	1~2	[ウロビリノーゲン定性]、 [ビリルビン定性]のご依頼が ある場合は、遮光にてご提出 下さい。
	03928	比重 1A030000000190111	尿 10	25	冷蔵	試験紙法	1.006 ~ 1.030	- ※2	1~2	[ウロビリノーゲン定性]、 [ビリルビン定性]のご依頼が ある場合は、遮光にてご提出 下さい。
	03929	沈渣 1A105000000192000	尿 10	25	冷蔵	フローサイト メトリー/ 遠沈鏡検法※1	-	- ※2	1~2	※1 フローサイトメトリー法で同 定できない成分は鏡検法を実 施致します。

※2：実施料は、当該保険医療機関内で検査を行った場合のみ算定できます。

# 一般検査

## 一般検査

分類	入力コード	検査項目	検体 必要量 (mL)	容器	保存 方法	検査方法	基準値	実施料 判断料	所要 日数	備考
		項目コード								
一般 検査	04011	細胞数 (髄液) IC030000004192001	髄液 0.5	27	冷蔵	Fuchs- Rosenthal 法	/mm <sup>3</sup> 0/3 ~ 15/3	62 尿便	1 ~ 2	
	04014	糖定量 (髄液) IC015000004126101	髄液 0.5	27	冷蔵	固定化酵素 電極法	mg/dL 50 ~ 75	11 生化 I	1 ~ 2	
	04013	蛋白定量 (髄液) IC010000004127101	髄液 0.5	27	冷蔵	ピロガロール・ レッド法	mg/dL 10 ~ 40	11 生化 I	1 ~ 2	
	10541	クロール定量 (髄液) 3H020000004126101	髄液 0.5	27	冷蔵	電極法	mEq/L 120 ~ 125	11 生化 I	1 ~ 2	
	04021	細胞数 (穿刺液) 1Z025000004092001	穿刺液 0.5	27	冷蔵	Fuchs- Rosenthal 法	/mm <sup>3</sup> —	—	1 ~ 2	
	04024	糖定量 (穿刺液) 1Z015000004026101	穿刺液 0.5	27	冷蔵	固定化酵素 電極法	mg/dL —	11 生化 I	1 ~ 2	
	04023	蛋白定量 (穿刺液) 1Z010000004027101	穿刺液 0.5	27	冷蔵	ピロガロール・ レッド法	mg/dL —	11 生化 I	1 ~ 2	
	04025	クロール定量 (穿刺液) 3H020000004026101	穿刺液 0.5	27	冷蔵	電極法	mEq/L —	—	1 ~ 2	
	03411	便中ヘモグロビン 1B040000001506211	糞便	31	冷蔵	ラテックス 凝集法	—	37 尿便	1 ~ 4	

## 「シングルアレルゲン」項目一覧

入カコード	アレルゲン名	入カコード	アレルゲン名	入カコード	アレルゲン名	入カコード	アレルゲン名	入カコード	アレルゲン名
室内塵		真菌/細菌		寄生虫		09459	メロン	09467	グルテン
09103	ハウスダスト1*1	09113	アルテルナリア	09421	アニサキス	09441	オレンジ	09122	牛肉
09430	ハウスダスト2*1	09114	カンジダ	食品		09475	グレープフルーツ	09443	豚肉
ダニ		09112	アルペルギルス	09106	牛乳	09155	キウイ	09123	鶏肉
09101	ヤケヒョウダニ(ダニ1)	09410	クラドスポリウム	09107	卵白	09470	マンゴ	09121	エビ
09426	コナヒョウダニ(ダニ2)	09409	ペニシリウム	09452	卵黄	09473	アボガド	09456	ロブスター
09427	アシフトコナダニ	09289	マラセチア(属)	09290	オボムコイド	09472	洋ナシ	09120	カニ
09428	サヤアシニクダニ	動物*2		09438	米	09439	トマト	09482	アサリ
09429	ケナガコナダニ	09115	ネコ(フケ)	09119	ソバ	09458	セロリ	09483	カキ(牡蠣)
樹木花粉		09117	イヌ(フケ)	09133	コムギ	09450	玉ネギ	09481	ホタテ
09105	スギ	09492	モルモット(上皮)	09292	$\omega$ -5グリアジン	09478	スイカ	09464	イカ
10162	ヒノキ	09418	ハムスター(上皮)	09433	オオムギ	09440	ニンジン	09465	タコ
09217	ハンノキ(属)	09420	マウス	09434	オートムギ	09474	ヤマイモ	10211	サバ
09406	カバ(シラカンバ属)	09417	家兎(上皮)	09432	ライムギ	09444	ジャガイモ	09466	アジ
09407	コナラ(属)	09411	ウマ(フケ)	09463	キビ	09462	サツマイモ	10213	イワシ
09408	クルミ(属)	09412	ウシ(フケ)	09435	トウモロコシ	09477	カボチャ	09131	タラ
イネ科植物花粉		09415	ヤギ(上皮)	09108	大豆	09476	ハウレンソウ	09479	カレイ
09110	カモガヤ	09416	ヒツジ(上皮)	09436	エンドウ	09461	タケノコ	09447	サケ
09404	オオアワガエリ	09414	セキセイインコ(羽毛)	09132	ピーナッツ	09449	ニンニク	09442	マグロ
09403	ハルガヤ	09413	セキセイインコのフン	09402	Ara h 2*3	09448	ゴマ	09291	イクラ
雑草花粉		09419	ニワトリ(羽毛)	09431	アーモンド	09460	マスタード	09480	タラコ
09111	ブタクサ	昆虫		09294	クルミ	09469	麦芽		
09127	ヨモギ	09242	ゴキブリ	09293	カシューナッツ	09451	ビール酵母		
09405	カナムグラ	10202	ユスリカ(成虫)	09445	ココナッツ	09471	カカオ		
職業性アレルゲン		09424	アシナガバチ	09437	ブラジルナッツ	09457	チェダーチーズ		
09484	絹	09422	ミツバチ	09446	イチゴ	09468	モールドチーズ		
09485	ラテックス	09423	スズメバチ	09275	リンゴ	09453	$\alpha$ -ラクトアルブミン		
薬物		09425	ヤブカ(属)	10221	モモ	09454	$\beta$ -ラクトグロブリン		
09486	ゼラチン	10203	ガ	10218	バナナ	09455	カゼイン		

アレルゲン1項目ごとに実施料110点を適用。ただし、同一検体について、複数のアレルゲン特異的IgEを測定した場合、実施料の算定は1,430点が限度となります。

\*1: 「ハウスダスト1」はGreer Labs、「ハウスダスト2」はHollister-Stier Labsによりそれぞれ調整された室内塵エキスを検査用アレルゲンとして使用したものです。

\*2: 動物系アレルゲン検査において、「フケ」は吸入性アレルギーを、「上皮」は接触アレルギーを主に疑う場合にそれぞれお選び下さい。

\*3: 「Ara h 2」は他のシングルアレルゲンとは判定基準および報告形態が異なりますので別表をご参照下さい。(クラス報告は行いません。)検査結果が陽性の場合、問診および「ピーナッツ」の検査結果と併せて、総合的なご判断をお願いします。アレルギー検査専用図形報告書では報告されませんので、ご注意ください。

## 「マルチアレルゲン」項目一覧

入カコード	項目名	混合アレルゲンの内容
09487	イネ科・マルチ	ハルガヤ、ギョウギシバ、カモガヤ、オオアワガエリ、アシ
09288	動物上皮・マルチ	ネコ(フケ)、イヌ(フケ)、モルモット上皮、ラット、マウス
09287	カビ・マルチ	ペニシリウム、クラドスポリウム、アスペルギルス、カンジダ、アルテルナリア、ヘルミントスポリウム

「マルチアレルゲン」検査は、複数アレルゲンの混合物を用いておおまかなカテゴリー(動物上皮等)としての原因アレルゲン検索を行うものであり、個々のアレルゲンにおける陰性/陽性の別を判定することはできません。

### 「特異的IgE」判定基準

IgE抗体濃度(UA/mL)	クラス	判定	
0.34以下	0	陰性	-
0.35 ~ 0.69	1	疑陽性	±
0.70 ~ 3.49	2	陽性	+
3.50 ~ 17.49	3		++
17.50 ~ 49.99	4		+++
50.00 ~ 99.99	5		
100以上	6		

### 「Ara h 2」判定基準

IgE抗体濃度(UA/mL)	判定
0.34以下	陰性
0.35 ~ 3.99	疑陽性
4.00以上	陽性

### 蛋白分画基準値

分画成分名	百分率(%)	濃度(g/dL)
アルブミン位分画	54.4 ~ 66.0	3.64 ~ 5.48
$\alpha$ 1グロブリン位分画	2.7 ~ 4.3	0.18 ~ 0.36
$\alpha$ 2グロブリン位分画	6.2 ~ 10.5	0.41 ~ 0.87
$\beta$ グロブリン位分画	8.9 ~ 13.5	0.59 ~ 1.12
$\gamma$ グロブリン位分画	12.3 ~ 22.8	0.82 ~ 1.89

### プロゲステロン基準値

	ng/mL
女性	
卵胞期	1.23以下
黄体期	14.70以下
妊娠前期	3.24 ~ 60.54
妊娠中期	21.52 ~ 104.58
妊娠後期	66.52 ~ 367.64
閉経後	0.90以下
男性	0.88以下

### エストラジオール (E<sub>2</sub>) 基準値

	pg/mL
女性	
卵胞期	<20 ~ 300.8
排卵期	41.3 ~ 527.4
黄体期	<20 ~ 349.1
閉経後	48.0以下
妊娠前期	966 ~ 4404
妊娠中期	7298 ~ 16390
妊娠後期	10800 ~ 40201
男性	51.1以下

容器番号	容器	備考
01	汎用容器 (分離剤入り)	
	容量	6mL・8.5mL
	添加剤	
	保管方法	常
	有効期間	1年
主な検査項目		

容器番号	容器	備考
02	汎用容器	
	容量	4mL・10mL
	添加剤	
	保管方法	常
	有効期間	3年
主な検査項目		
血清, 血漿提出用		

容器番号	容器	備考
03	汎用容器 (分離剤なし)	
	容量	9mL
	添加剤	
	保管方法	常
	有効期間	1.5年
主な検査項目		
LE細胞等		

04	グルコース・HbA1c用容器	
	採取量	2mL
	添加剤	NaF EDTA-2Na
	保管方法	常
	有効期間	1.5年
主な検査項目		
グルコース, ヘモグロビン A1c		

07	シクロスポリン・タクロリムス用容器	
	採取量	5mL
	添加剤	EDTA-2Na
	保管方法	常
	有効期間	2年
主な検査項目		
シクロスポリン, タクロリムス		

08	アプロチニン容器	
	採取量	2mL
	添加剤	EDTA-2Na アプロチニン
	保管方法	常
	有効期間	1年
主な検査項目		
hANP		

13	血液学容器	
	採取量	2mL・3mL・4mL
	添加剤	EDTA-2K
	保管方法	常
	有効期間	1.5年
主な検査項目		
末梢血液一般検査, 血液像, 血液型, 直接クームス試験, その他		

14	内分泌学用容器	
	容量	5.5mL
	添加剤	EDTA-2Na
	保管方法	常
	有効期間	1.5年
主な検査項目		
レニン, アンジオテンシン, サイクリックAMP, その他		

15	血液凝固検査用容器	
	採取量	1.8mL
	添加剤	3.2%クエン酸Na 0.2ml
	保管方法	常
	有効期間	1年
主な検査項目		
凝固因子活性, PT, APTT, FIB, ATⅢ, 血中FDP, その他		

16	尿中C-ペプチド用容器	
	採取量	10mL
	添加剤	*全尿保存の場合は必ず専用保存剤を添加して下さい
	保管方法	常
	有効期間	1年
主な検査項目		
尿中C-ペプチド		

25	尿一般容器	
	容量	10mL
	添加剤	
	保管方法	常
	有効期間	3年
主な検査項目		
尿一般検査		

27	滅菌スピッツ管	
	容量	10mL
	添加剤	
	保管方法	常
	有効期間	3年
主な検査項目		
尿細菌検査		

■ 容器取扱い・保管上のご注意


有効期間は包装開封前のものです。

検査でご使用になる容器のうち、特に添加剤の含むものについては、その取扱・保管には十分ご注意ください。

- ・小児や患者の手の届かない所に保管して下さい。
- ・使用の際、手足や、皮膚、特に眼にかからないように注意して下さい。
- ・誤飲しないように取扱・保管には注意して下さい。
- ・眼に入った場合は、直ちに流水でよく洗い、医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合、直ちに医師へ連絡をして下さい。
- ・皮膚に触れた場合には、石けんを使ってよく洗って下さい。




容器番号	容器	備考
31	便中ヘモグロビン採便管	
	採取量	約 0.5g
	添加剤	
	保管方法	常
	有効期間	1.5 年
<b>主な検査項目</b> 便中ヘモグロビン (ラテックス)		

容器番号	容器	備考
62	ウイルス遺伝子検査用容器	
	採取量	5mL
	添加剤	
	保管方法	常
	有効期間	1 年
<b>主な検査項目</b> HBV - DNA 定量 (TaqManPCR 法), HBV pre - C, HIV - 抗原・抗体		

容器番号	容器	備考
	採取量	
	添加剤	
	保管方法	
	有効期間	
<b>主な検査項目</b>		

容器番号	容器	備考
	採取量	
	添加剤	
	保管方法	
	有効期間	
<b>主な検査項目</b>		

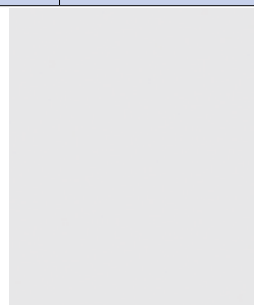
容器番号	容器	備考
32	呼気採取バッグ	
	採取量	各 250mL
	添加剤	
	保管方法	常
	有効期間	
<b>主な検査項目</b> 尿素呼気試験		

容器番号	容器	備考
	採取量	
	添加剤	
	保管方法	
	有効期間	
<b>主な検査項目</b>		

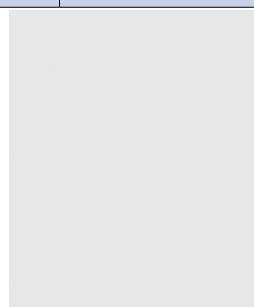
容器番号	容器	備考
	採取量	
	添加剤	
	保管方法	
	有効期間	
<b>主な検査項目</b>		

容器番号	容器	備考
	採取量	
	添加剤	
	保管方法	
	有効期間	
<b>主な検査項目</b>		

容器番号	容器	備考
51	血中エンドトキシン・β-D-グルカン用容器	
	採取量	3mL
	添加剤	ヘパリン Na
	保管方法	常
	有効期間	2 年
<b>主な検査項目</b> エンドトキシン, (1 → 3) - β - D - グルカン		

容器番号	容器	備考
	採取量	
	添加剤	
	保管方法	
	有効期間	
<b>主な検査項目</b>		

容器番号	容器	備考
	採取量	
	添加剤	
	保管方法	
	有効期間	
<b>主な検査項目</b>		

容器番号	容器	備考
	採取量	
	添加剤	
	保管方法	
	有効期間	
<b>主な検査項目</b>		

■ 容器取扱い・保管上のご注意

有効期間は包装開封前のもです。

検査でご利用になる容器のうち、特に添加剤の含むものについては、その取扱・保管には十分なお注意をお願い致します。

- ・小児や患者の手の届かない所に保管して下さい。
- ・使用の際、手足や、皮膚、特に眼にかからないように注意して下さい。
- ・誤飲しないように取扱・保管には注意して下さい。
- ・眼に入った場合は、直ちに流水でよく洗い、医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合、直ちに医師へ連絡をして下さい。
- ・皮膚に触れた場合には、石けんを使ってよく洗って下さい。

# 認証・認定類のご紹介

## ■ ISO/IEC 27001

ISO/IEC27001 (ISMS: 情報セキュリティマネジメントシステム) とは、情報セキュリティに関する国際規格です。組織が保有する情報資産について、リスクアセスメントに基づきセキュリティレベルを定め、機密性、完全性、可用性を確保・維持するための活動を計画し、システムを運営していくことが求められます。

当組合では、この規格の認証を『情報システム部における臨床検査に関するホストシステム及び検査照会Webシステムの管理業務』において取得しています。この仕組みに基づいてお客様の検査情報をはじめとする重要な情報を、さまざまな脅威から守り、信頼性を高めた検査サービスをご提供し続けて参ります。



## ■ ISO 15189

ISO 15189は、臨床検査室における国際規格であり、品質マネジメントの要求事項に加え、技術的要求事項（人材、環境条件、検査機器、検査手順、結果報告等）についても規定されています。

当組合では、現在日本で唯一の認定機関である公益財団法人日本適合性認定協会（JAB）により実施された審査で、2016年9月にこの認定を取得しました。





## ●アクセス

### つくばエクスプレス

- ・「つくば」駅下車。「つくばセンター」から、「筑波大学中央」行き、または「筑波大学循環(右回り)」のバスに乗り、「筑波大学病院入口」で下車。

### JR常磐線

- ・ひたち野うしく駅、「荒川沖」駅、「土浦」駅のいずれかで下車。各駅から「筑波大学中央」行きのバスに乗り、「筑波大学病院入口」で下車。

### 常磐高速バス

- ・東京駅八重洲南口から「筑波大学」行きのバスに乗り、「筑波大学病院入口」で下車。

## つくば i-Laboratory LLP

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 2-1-17

インフォメーション 029-850-1290

URL <http://www.tsukuba-i-lab.com>

E-mail: [mail@tsukuba-i-lab.com](mailto:mail@tsukuba-i-lab.com)